



あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子

## 人と人とのふれあいを大切にしよう



○10月の人権目標は「人と人とのふれあいを大切にしよう」です。  
人権朝会で、今月の担当の先生がこんなお話をしました。

『1学期は、鮎の放流・花植えやひまわり植え・昔遊び集会など、地域の方々にしていただく活動の中で地域の方々とのふれあいを深めてきました。2学期に入ってからは、していただくばかりでなく、「自分たちから積極的に地域の方々とふれあおう」「地域の方々を元気にしよう」「地域の方々に喜んでいただこう」と考えて、「阿太みんなの元気が出る運動会」の実施に向けて頑張ってきました。自分たちから「地域のために…」と行動を起こした結果、多くの方々とふれあい、たくさんの笑顔と出会い、つながりをより深めることができました。でも、これで終わるわけにはいきません。せっかくここまでできるようになったんだから、これからもっとつながりを深め、多くの人とふれあい、知らなかったことを知る喜びや楽しさをたくさん味わったり、自分の周りの人々への思いやりや感謝の気持ちなどを今以上に育てたりしていきたいと思いませんか。

そのために、私たちにできることは何でしょう。もう一度あいさつについて考えてみましょう。「おはようございます」「こんにちは」だけでなく、「おはようございます。今日はいいお天気ですね。」「こんにちは。この前はお世話になってありがとうございました。」というように、一言付け加えて笑顔であいさつすることができるようになれば、より一層親しみがわいてくると思いませんか。そうすると、そこから次のお話ができるようになります。



ところで、この二人は、どんなおじいさんとおばさんだと思いますか？どこにでもいる普通のおじいさんとおばさんのように見えますが、実はこのおじいさんは一輪車に乗れるのです。一輪車が大好きで、昔、この地域を一輪車で一周したことがあるのです。また、このおばさんはとてもおもしろい人なのです。昔、芸人を目指していて、さんまさんにも出会ったことがあるのです。だから、話の最中におもしろいツッコミも入れてくれるのです。なんて、見た目では分からないことでも、お話をしてみれば、この人は意外とこんな長所や特技を持った人なんだと気付くことができるのです。

これはあくまでもたとえ話ですが、あいさつからお話へと世界が広がっていけば、もっと互いを理解できるようになり、もっと学校や地域が元気になるのではないのでしょうか。

「人間」という字を見てみましょう。私たち「人間」は人と人との間で生きています。つまり、私たちが人間らしく生きるためには、人と人との間でふれあいながら、つながり合ったり支え合ったりして生きることが大切なのです。だから、たくさんの人ともっともっとふれあってください。ひとつひとつの出会い・ふれあいを大切にしてください。』



いかがですか？人と人が笑顔でふれあえる阿太の地域って素敵だと思いませんか？